

「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」 を実施しました。

湯沢砂防事務所は今年、直轄事業80周年の節目にさらなる地域の安全・安心の向上を目指して、11月14日(火)新潟県南魚沼市役所(大和庁舎)において、「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」を実施しました。

本訓練は、豪雨を誘因とした河道閉塞の形成、複数の土砂災害が発生したことを想定し、南魚沼市、新潟県土木部砂防課、新潟県南魚沼地域振興局、北陸地方整備局、湯沢砂防事務所の各機関がそれぞれの対応について確認し、課題把握と今後の危機管理対応能力の向上を図ることを目的としています。

当日は、南魚沼市の林 市長をはじめ、新潟県、南魚沼市の関係職員や砂防スペシャルエンジニアからなる総勢51名が、ファシリテーター(司会進行者)による進行のもと熱心に訓練を行いました。



林 南魚沼市長



周辺自治体職員など多くの方が訓練を見学しました。

新潟県
砂防課

南魚沼市



湯沢砂防事務所

新潟県
南魚沼地域振興局砂防スペシャルエンジニアと
対策工法を検討しました。

各機関 具体的な対応策について発言しました。

今回の訓練を通じて、各機関同士の連絡体制構築や連携した対応の重要性を学びました。この経験を活かし、今後、更なる危機管対応能力の向上を図っていきたいと思います。